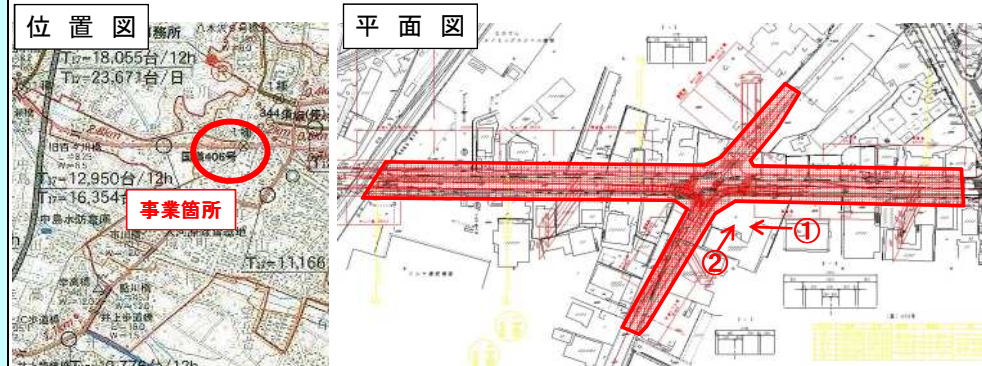


(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課

事業名		道路改築事業		路河川名等	(国)406号				
事業毎の通番		4	市町村名	須坂市	箇所名(ふりがな)	南横町(みなみよこまち)			
事業概要	事業目的	国道406号は、大町市を起点とし、長野市や須坂市を経由し、群馬県高崎市に至る主要な幹線道路であり、地域の生活や産業、観光を支える重要な路線であるが、長野市境～須坂市街地では朝晩の通勤時を中心に混雑が見られ、移動性阻害箇所(イライラ箇所)に指定されている。また、森上小学校、須坂園芸高校が近隣にあるが、歩道が狭く、歩行者の通行に支障をきたしている状況にある。 当該箇所の整備により、混雑の緩和、歩行者の安全確保を図るため、早期に整備する必要がある。							
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり(暮らしを支える道路網の整備)		事業実施の根拠法令等	道路法				
	関連する事業、計画等	須坂都市計画区域マスタープラン							
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量 : 15,700台/日							
	着手年度	平成27年度	事業期間	4年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)			
	完成年度(見込み)	平成30年度	費用対効果	3.9	国庫	その他	県債	一般財源	
	全体事業内容(主な工種)	道路築造工L=200m、W=6.5(17.0)m			480,000	288,000	172,800	19,200	
	年度事業内容(主な工種)								
	事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行時間、経費等の減少 17億円 緊急輸送路(2次)の整備						
		間接的効果(定量的・定性的)	地域間交流の促進						
評価の視点	必要性	○代替道路の有無 : 代替道路があるが安全性低い ○交通結節点アクセス : 須坂駅へのアクセス道路 ○観光地アクセス : 観光地に通じる道路(臥竜公園) ○地域の活性化 : 長野市、須坂市街地から菅平高原(スポーツ関連施設集積拠点)へのアクセス						評価	A
	重要性	○関連計画、重点施策との整合 : イライラ箇所(横町中央交差点)、須坂都市計画区域マスタープラン ○緊急輸送道路の路線指定 : 緊急輸送路(2次) ○地域指定 : 積雪地域						評価	B
	効率性	○費用便益比(B/C) : 3.9 ○事業期間 : 4年(H27～H30) ○工法等の比較検討 : 地元関係者らが参加し、ルート比較検討を実施 ○他事業との連携 : 都市計画事業(臥竜線(H25～H28))						評価	A
	緊急性	○近年の交通事故件数 : H23:4件、H24:2件 ○渋滞及び騒音・振動の緩和 : イライラ箇所の解消(横町中央交差点) ○歩道整備:通学路指定あり(森上小学校) ○道路構造:現況幅員5.5m						評価	A
	計画熟度	○事業情報の共有 : 3回の意見交換会・説明会を実施済(H22.8、H23.9、H24.9)(H25には地権者に個別に説明)						評価	B
		○地域の取り組み : 3回の意見交換会・説明会を実施済 沿線地権者からは、早期の事業化要望あり ○地域の合意形成 : 整備手法について、地権者と個別に調整のうえ決定し、概ね合意形成が図られている ○住民との協働 : 維持管理や環境美化に地域住民が直接参加している(道路愛護会、塩川長生会、むつみ会)							
部意見	事業の重要性、効率性は高いが、都市計画道路の見直しが予定されており、事業化を見送りたい。		行政改革課意見	必要性、緊急性が認められる。		評価結果	総合評価	A	

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)



【整備の必要性がわかる状況写真等】



事業周辺環境	①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	(国)406号は、長野市から菅平を結ぶ主要幹線道路であり、本事業区間は須坂市の中心市街地である須坂駅南交差点前後である。	
	②地域からの要望経緯及び地域の関わり	本事業区間は、朝晩の通勤時を中心に混雑状況が見られ、イライラ箇所にも指定されている。当該箇所は、須坂市街地の玄関口になっており、車両交通が多く、錯綜している。森上小学校、須坂園芸高校が近隣にあるが、歩道が狭く、歩行者が危険にさらされている状態となっている。	
	③事業説明等の経緯	本事業区間は、平成22年度から沿線住民への事業説明を実施しており、地権者からも事業化の要望が挙げられている。このため本事業区間も早期の事業化が求められている。	
	④他事業・プロジェクトとの整合、関連	須坂市で行われている幹線道路網の見直しの検討にあたり、既存のバイパス(都市計画道路高甫線)計画の廃止など、将来交通需要を踏まえ、幹線道路として当路線の重要性が高まっている。	
	⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	地元関係者らも参加しルート比較検討を実施し、地域住民の意向に沿った工法を検討している。	
	⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により交通の円滑化が図られ、付近の商業施設等の活性化も期待される。	
	⑦その他	コストの縮減が期待できる案を採用している。	事業代表地点の緯度経度